

どうなる? 2018卒の

就職活動スケジュール

現状維持か
再変更か、
不透明な見通し

2016年卒から大きく変更された就職活動スケジュール。さらに、今まさに進行中の2017年卒就活も再度スケジュールの見直しが行われたことで学生と企業、双方に混乱が生じています。そのため、2018年卒（学部3年・修士1年/2016年6月時点）の就職活動スケジュールについては、この記事執筆している5月中旬時点では未確定となっています。サマーインターシップを控えて情報収集を始めている2018卒の読者もいるかもしれませんが、2017卒の先輩たちは就職活動が進行中のため、スケジュールや就活ノウハウについてじっくり話を聞くことが難しいかもしれません。『どうなる? 2018卒の就職活動スケジュール』では2018卒の就活スケジュールの見直しについて解説します。

現時点では2018卒の
就活スケジュールは未確定

2015年卒までの就職活動は学部3年・修士1年の12月に採用情報が公開され、翌年4月から採用選考が行われるというスケジュールでした。2016年卒を対象とした就職活動スケジュールは学部3年・修士1年の3月1日から採用情報の公開（いわゆる就活解禁日）、8月から採用選考開始となりましたが、翌年の2017年卒はそこから選考開始日のみが前倒しされ6月から開始となりました。就活直前になって日程が変更された2017年卒の就職活動は、前年よりも実質的な活動期間が短縮され、学生・企業双方に混乱が生じています。

この日程変更によって学生・企業の動きにどのような影響があるのか、企業側は一定の検証をしない事には2018年卒就活スケジュールの方向性を決めることは難しいでしょう。それゆえ、2018年卒の就活スケジュールが正式に決定するのは2017年卒の選考が一段落する2016年夏以降になるのではないかと思われます。企業や大学から、「2017年卒スケジュールから大きく変えるべきではない」、「もっと前倒して選考を実施すべき」など、様々な意見が出ており、2018卒の就活

スケジュールがどのように決着するかは予断を許しません。今後の動きを注意深く見ていく必要があるでしょう。

就活スケジュール、採用プロセスは企業ごとに多様化の傾向

とはいえ、前述の就職活動スケジュールは日本経済団体連合会（経団連）が提唱する「採用選考に関する指針」に賛同する企業についての話で、このスケジュールに沿った採用活動を行う企業ばかりではありません。

学部3年・修士1年の秋～冬にかけて採用直結型のインターンシップを行う外資系企業や、早期から採用広報・選考を進めて6月以前に内定出しを行っている企業など、一般的な就活スケジュールに当てはまらない採用活動を行っている企業も少なくないのです。企業による選考や採用プロセスは以前よりも多様化しており、就活生は就活解禁日になってから腰を上げるのではなく、早期からしっかりと情報収集しておくことが重要となるでしょう。

なお、2017卒の就職活動を見てみると、就活生の説明会や面接への参加回数が前年と比較して減少傾向にあります。就活期間が短くなることで、企業の採用スケジュールが過密化し、採用試験や説明会の日程が重複したことが要因とみられます。さらに、卒業

2017年卒の先輩たちの 就職活動スケジュール

下記スケジュールは2017年卒の先輩たちの就職活動スケジュールです。2018年卒の就活解禁時期および選考開始指時期は本稿執筆時点（5月中旬）では未確定です。

2015
8月

9月

10月

11月

12月

2016
1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

夏だけでなく
秋から冬にかけて
インターンシップを
実施する企業が増加。

就活解禁

2017卒向け
採用情報の公開。
エントリー受付が
スタート。

採用選考

選考開始後は
随時内定出し。

インターンシップ

エントリー受付、 合同イベント・説明会

筆記試験・面接

「業界Aを中心に受けてみたけど、自分の希望にマッチしなそうだったから業界Bも受けてみる」といった途中での進路変更も可能でしたが、現状のスケジュールではそのチャンスは限られて

仮に2017卒から就活スケジュールに大きな変更がなかった場合、採用情報の公開から内定までの期間はわずか3か月です。以前は「一旦就活に挑戦してみたら『進学』を検討する」や「業界Aを中心に受けてみたけど、自分の希望にマッチしなそうだったから業界Bも受けてみる」といった途中での進路変更も可能でしたが、現状のスケジュールではそのチャンスは限られて

早期に将来について考えておくことの重要性が高まる

「インターンシップ参加のチャンスは増加」

早期に仕事や業界の理解を深めるためにお勧めなのはインターンシップです。インターンシップは仕事や会社の

しまいます。将来の進路に少しでも迷いがあるのであれば、「なぜ就職するのか」「自分の本当にやりたいことは何なのか」といったことを今のうちからしっかり考えるようにしましょう。社会との接点を持つことで、自分の本当にやりたいことが見出せる場合もあるので、今のうちに様々な経験をjして判断材料を集めてみてはいかがでしょうか。志望業界・企業など、自身の目指すべき方向が見えてくるかもしれません。

理解をしっかりと深めることで、自身の適性や本当にやりたいことを見出す絶好の機会。かつては夏にインターンシップを行い、冬以降に採用活動を本格的に開始するという企業が多かったのですが、2016卒の就活以降は夏だけでなく、秋から冬にかけてもインターンシップを実施する企業が増えています。

すでに2018卒向けのサマーインターンシップ情報は多数公開されており、エントリー受付も始まっています。インターンシップ参加のチャンスは広がっているのです、この機会を活用し、就職活動が本格的に始まるまでに自分の適性や社会に対する理解を深め、準備を整えてみてはいかがでしょうか。

まとめ

企業は2017卒の就職活動の状況を踏まえ、2018卒の採用スケジュールやプロセスの見直しを検討しているところも少なくありません。それゆえ、就活生は情報に対する感度を高めつつ、行動計画をしっかりと考えることが一層重要となります。そして就職活動が本格化するまでの時間を活用し、社会についての理解を深めたり、自身のスキルアップに努めたりと、時間を有意義に使ってください。「自分が将来どうなりたいのか」「そのためにいま何をすべきなのか」この夏、考えてみてください。